

# 公共事業等新規事業評価調書

部課室名	県土整備部 まちづくり局 市街地整備課 区画整理室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	区画整理室長 齊藤和夫 (区画整理係係長 赤松輝男)	内線	4673
------	------------------------------------	---------------------	-------------------------------	----	------

事業種目	投資事業 (国庫補助)	事業名	事業区間	総事業費	25億円
		土地区画整理事業	高砂市小松原地区		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
兵庫県高砂市荒井町、小松原、若宮町				平成13年度	平成21年度
事業目的			事業内容		
<p>本地区は、本市の市街地中心部に位置し、国道250号等の幹線道路の整備により、近年都市化が波及し、無秩序な市街化が拡大している。</p> <p>それに対応すべく、計画的な土地利用を行い、本市臨海部工業地帯への重要なアクセス道路である・2・2都市計画道路沖浜平津線の拡幅とともに、その他の公共施設の整備を図り、健全で魅力ある街を建設することを目的とする。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区面積 18.7ha</li> <li>・都市計画道路 沖浜平津線 W=30m L=659m</li> <li>・公園 街区公園 2箇所 A=0.56ha</li> </ul>		

評価視点	
(1) 必要性 安全・安心	<p>本地区は、地区内を横断する市道が1路線あり、幅員も狭くその市道を利用したミニ開発等による住宅地が張り付いており、防災上支障がある。区画整理を行うことにより、緊急車両の進入が可能となり、都市の防災機能の向上が図られる。又、同時に都市計画道路の整備を行い、歩道を設置することにより、歩行者の安全を確保する。</p> <p>2箇所の街区公園を整備し、植樹による緑化を行う。また、供給・排水処理施設(都市ガス・上下水道等)を本事業の進捗に併せて施行することにより、良好な都市環境を整備する。</p> <p>本地区に隣接する明姫幹線道路(国道250号)と接続する主要県道高砂・北条線(都市計画道路沖浜平津線)は現道幅員が狭く、混雑度が高くなっている。本事業で都市計画道路などの都市基盤を整備し、都市の骨格形成を図る。また、大都市法に基づく重点供給地区であるので、良好な宅地の供給を行い、地域の活性化を図る。</p> <p>地元準備委員会の積極的な活動により、事業に対する地元の熟度が高まってきており、市行政による技術援助体制も整ってきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域戦略プランに位置づけられている。</li> <li>・高砂市総合計画に位置づけられている。</li> <li>・高砂市都市計画マスタープランに位置づけられている。</li> </ul>
(2) 有効性・効率性 有効性	<p>本事業を実施することにより、都市計画道路の整備が進むとともに、地区内のミニ開発などによるスプロール化を防止することができる。</p> <p>費用対効果 B/C = 2.7</p> <p>保留地については、周辺における土地売買の実績に基づき、売却可能な保留地単価を設定しており、適正な資金計画であると考えている。</p>
(3) 環境適合性	<p>(都)沖浜平津線において街路樹による植栽を進め、公園と幹線道路の植栽が有機的に結ばれた緑のネットワークの形成を推進し、生活環境の向上を図る。</p>
(4) 優先性	<p>本事業で区画道路の整備を行うことにより、緊急車両の進入が可能となり、防災機能の向上が図れると共に公園整備、供給・排水処理施設の同時施工により良好な都市環境整備が可能になる等事業の必要性は高い。また、臨海部の播磨地方拠点地区に位置づけられている高砂ユニー・アイ・タウン建設事業、高砂工業公園整備事業が進められていることから、街路事業の整備に併せて、都市計画道路沖浜平津線の整備を進め、臨海部へのアクセス道路の整備を行う必要がある。</p>

評価の結果		左の理由
-------	--	------